

がんばります!



▲堀さん(左)とドレミ館の岩田会長

八代市古城町で、ほうれん草やブロッコリー、オク

田中 聡さん
JA大浜
青年蔬菜部部长



玉名市大浜町で、丸トマトとミニトマト、米の栽培をされている田中聡さんを取材しました。
田中さんのご家族は、奥

出荷者：堀 恵美子さん
直売所：JAやつしろ農産物
直売所「ドレミ館」
紹介JA：JAやつしろ

様とお子様3人、ご両親の7人家族です。

と水田(300㎡)の栽培をされています。

ただけのものが返ってくるころです。仕事をすればするほど丸トマトやミニトマトの収穫量も増え、収入もあります。」

「農業後継者の方々、自分でやりたいことがある人は、いつまでも親元で働くのではなく、反対を押し切ってもやりたいことをしましよう(ちゃんと話し合っ

高校、工業大学を卒業。卒業後は、菊陽町で4年間会社員として勤め、その後就農されています。会社員として勤めていた頃は、実家の農業を継ぐつもりはなかったとのこと。農業に関しては全くの素人からの出発でした。

「就農して1年目は休暇が取れなかったことです。会社員として勤めていた時は休みがあり、自分で自由に使う時間がありました。それが急になくなり、すごく辛かったです。今は、体が慣れてしまい、逆に休みがあるときです。」

「今年からですが、経営を両親と分けています。今までは、丸トマトのみの栽培でしたが、ハウスの半分で、自分がやりたかったミニトマトの栽培も始めました。丸トマトだけでなく、同時にミニトマトを栽培するなど、新しいことに挑戦していきたくです。」

好きな言葉は「一途一心」。トマト料理では、奥様手作りの「ミニトソース」が大好きという、笑顔の絶えない田中さんでした。

現在は、ご夫婦とご両親の4人で、ハウスによる丸トマトとミニトマト(64㎡)

取得。い草栽培の傍ら、JAでホームヘルパーの仕事

物は、気づいた会員が取り除くことにより、良品だけを販売しています。

を決めますが、ドレミ館は自分で作った野菜の値段を自分で決めることができ、楽しみや魅力を感じています。」

らなど、旬の野菜を栽培されている堀恵美子さんを取材しました。

現在、旦那様と2人で、数多くの旬の野菜(25㎡)を栽培されています。

少しでもいろんな種類の野菜を出荷できるよう工夫しています。そのために、家の光を見ながら野菜作りの勉強をしたり、時には、ドレミ館の会員で勉強会をする

楽しみは、近所の農家の方たちとのランチや、旅行に行くこと。何をやるにも、何時も旦那様と一緒に夫婦仲が良く、勉強熱心な堀さんでした。

堀さんは太田郷地区で生まれ育ち、そこを分家し、2年間北新地地区で生活。その後、23歳で結婚し、八代市古城町の、い草(1.7ア)農家での就農されました。

その堀さんに、当時JA職員だった、現在の岩田ドレミ館会長から「ホームヘルパーの資格」を勧められ

「ドレミ館の設立は平成11年です。様々な規約があり、規約を守らない人は会員になれませんが、現在70名の会員がいます。また、店舗には新鮮な商品のみ陳列しています。不良品や傷んだ

また、市場は相手が金額

その堀さんに、当時JA職員だった、現在の岩田ドレミ館会長から「ホームヘルパーの資格」を勧められ

「ドレミ館の設立は平成11年です。様々な規約があり、規約を守らない人は会員になれませんが、現在70名の会員がいます。また、店舗には新鮮な商品のみ陳列しています。不良品や傷んだ

また、市場は相手が金額

また、市場は相手が金額

その堀さんに、当時JA職員だった、現在の岩田ドレミ館会長から「ホームヘルパーの資格」を勧められ

また、市場は相手が金額

また、市場は相手が金額

また、市場は相手が金額